

第7回鳥取市市政改革推進市民委員会・議事概要

日 時：令和5年6月8日（木） 午後3時00分から午後4時05分

会 場：鳥取市役所 本庁舎7階 第2委員会室

出席者：《委員》8名出席

山下 博樹 委員長、河崎 誠 副委員長、川口 有美子 委員、若山 敬之 委員、岸 舞 委員、
村尾 昌彦 委員、大塚 英子 委員、大西 早織 委員

《鳥取市》

行財政改革課：河口次長、米田参事、若田主幹、平野主任

会議内容

1. 開会

2. あいさつ

委員長：

今日は私もマスクを外させてもらったが、コロナに関して環境が変わってきており、少しずつ以前の形に戻っていけるといいと思う。今年度も昨年同様の活動になると思うがよろしくお願ひしたい。

3. 議事

市政改革プラン二次評価について

事務局：

（資料1、資料2、資料3を説明）

市政改革プランヒアリングについて

事務局：

（資料4、参考資料4を説明）

委員長：

このタイミングで、実施計画のヒアリング対象を選ぶことになった経緯として、先ほどの資料1を見ていただくと、昨年度はこのヒアリングの対象選定をするのが二次評価の後、10月になってからやっていた。実際にすべての計画を皆さんが見て、出てきた疑問や意見をぶつけるというイメージを持ちながら、ヒアリング対象を選ぶことができていたが、次回の委員会が書面開催となったため、二次評価をする前にヒアリングの対象を選ぶこととなった。

先週皆さんにアンケートにお答えいただいたが、おそらく二次評価をする前の段階

で、自分の興味や関心があるところで丸をつけていただいたのではと思っている。私もそんなところである。

だから今回は、具体的な進捗状況を見て、何か気づいたことがあって意見を言うのではなく、もっとシンプルに話を聞いてみようかくらいの感覚でもいいのではと思う。一方で、事務局からも提案があったが、ヒアリングの対象が比較的我々のイメージしやすいところに偏りがちであった部分もあるため、これまで対象になっていなかった課も交えながら選んでもいいのではという話をしてきた。事務局案に縛られる必要はないが、こういうものも参考にしながら選べたらと思う。

せっかくなのでご意見をお伺いしながら、ヒアリング対象の選定ができたらと思う。

事務局：

委員長の言われる通りのところもあり、二次評価のお願いをする前に、ヒアリングの絞り込みということになってしまい申し訳ないと思っている。もし今日のうちに絞り切れなかった場合は、二次評価をしていただいた後に最終的な絞り込みをすることもできるので、柔軟にしていただけたらと思う。

委員長：

資料が今手元にあるわけではないが、計画自体は昨年に通りに見ているため、そこまで結果は大きく変わらないと思う。皆さんの意見を聞きながら、様子を見て最後に判断したい。

どうやって決めるかだが、この計画の中から選ぶというやり方もあるが、例えば、皆さんの日常生活の中で、鳥取市の市政、あるいはもっと広い範囲でもいいが、聞きたいことや気になることと、この計画を結びつけて話を聞いてもいいのではないかと。約70の計画だけを見て選ぶのもいいが、もう少し頭を柔らかくして、コロナも落ち着いてきた日常生活の中で、こうなったらいいのにとか、ここはどうなのかと思うところを意見交換できたらいいのではと思った。

口火を切らせていただくと、コロナも落ち着いてきて、私も国内外のいろいろなところへ出張に出かけたりするようになってきた。

やはり鳥取にいて思うのが、他の地域で随分進んできている、いわゆるキャッシュレスでの生活。普段の買い物もそうだし、自動車の税金の納付などもスマホからできるようになっている。そのあたりが今後、市の関わるところでどうなっていくのかが気になっていた。資料4の計画を見ると、ちょうど真ん中辺りに、「キャッシュレス決済の導入」というものがあり、皆さんの丸も結構ついていた。

そういう感覚で結構なので、皆さんが気になっている、あるいはちょっと思いついたことも含めて、こんな話を聞いてみたいというものをお聞きしたい。

副委員長：

すぐには思いつかないが、委員長も言われたキャッシュレス決済は気になっている。鳥取市がどうか十分に把握はしていないが、公共料金などがどこまでキャッシュレス

になっているのか。経済が厳しくなっていており、カードで払ったらポイントが貯まるのといった声もよく聞く。そういうものが市としてどういう方向になってくのかというのは一市民として気になるところではある。

ヒアリング対象の選定に関しては、皆さんの希望が数字で出てきているので、二重丸のところは優先して決定してもいいのではと思う。残りをどこにするかを予備候補も含めて詰めていけばいいと思っている。

A委員：

今回、多目的室の計画を二重丸にさせてもらったが、使った方から、借りる時に紙を書く必要があり、それを書きに行くのが大変で、あまり使い勝手が良くないといったことを聞いた。今はいろいろな施設がネットで予約できると思っていたので、紙が必要なのかと思い、選ばせていただいた。

委員長から生活の中でということと言われて、すぐには思い浮かばなかったが、やはり子どものことは日頃から気になっている。

いろいろなお母さん方と話をさせてもらう時に、学校によってばらつきがあると感じている。運動会の運営でも、コロナの予防の観点から早く終わる学校もあれば、1日中やっていた学校もあった。また、地域と一緒にやっている学校やそうでない学校など、いろいろと対応に差がある。マスクの対応も全然違うと感じた。

また、学校の先生たちの残業が増えていることも気になっていて、子どもたちに対応していただくのは嬉しいが、先生たちにも家庭があるといつも考えていた。

B委員：

委員長が言われたキャッシュレスについて、鳥取の現状はなかなか進んでおらず、以前から興味がある部分だった。私も県外出張が多いので、いろいろところで公共交通を利用するが、あまり現金を使うことはない。

また、計画外になるかもしれないが、キャッシュレスと同様に電子化やデジタル化という部分では今のマイナンバーカードの不具合やミスといったトラブルが全国的に騒がれているので、その辺りも気になるところである。

あとヒアリングの対象について、今回皆さんが選定された中でも課が被っているところがある。皆さん幅広く聞いてみたいとされているので、項目は違うが課が同じところを一つにして、30分の枠を有効活用してより多くの課でヒアリングができればいいのではと思っている。

委員長：

今出てきたマイナンバーカードは、プランの計画に寄せて話を聞こうとすると、どんなところになりそうか。

事務局：

基本的にはこの計画の中にはマイナンバーは入っていない。

現在、国がマイナンバーカードの環境整備を急ピッチで進めており、本市においても

マイナンバーを使った電子申請やシステムが使えるように今検討している。通し番号で38番の電子申請、66番のシステムの共同利用のあたりを選ばれたら関連してマイナンバーの話もできるかと思う。

また、例えば35番のAI・RPA、36番のモバイルワークあたりを一本でやるということであれば、その中で触れてもらうこともできると思っている。

C委員：

私はボランティアマッチングの推進について話が聞けたらと思っている。というのが、自分の仕事などで、ボランティアの方に手伝っていただけたらありがたいと思うことがある。例えば、高齢の方が施設に入る際に自宅のごみを片付けないといけませんが、そこに業者が入ると大ごとになるため、独居の方の場合だと困られることがある。そういうボランティアを必要とされている方が、ボランティアの方に手伝っていただけるという情報にたどり着く前に、急ぎでやむを得ず業者に頼む。ビジネスの部分とボランティアの部分の両立は難しいものの、ボランティアをしたい方の力を最大限に発揮できるチャンスが増えることが地域のためにも良いのではと思っている。

あと、これは気になる市民の方も多いと個人的に思うのが、債権の収納率向上について。私の関わりのあるところで、固定資産税を納めることなく過ごしている方を見ることがある。中には極端な話だが、必要としない土地だから固定資産税を納めない、土地は差し押さえてくれれば良いと思う方もおられる。そういう負の財産を抱えておられる方が、納税しながらも明るい方向に行けるようにできれば良いと思う。ただ、納めない人を放っておくと債権が多くなってしまう。市の財政というのとは一番大切なところであるため、市民の意識が高まる情報もあるといいと思う。

D委員：

私も電子化は気になっていたところなのでチェックを入れた。あとは前回クラウドファンディングの活用の討議が結構盛り上がったので、ふるさと納税についてももう少し詳しく、別の角度からも話が聞けたらいいと思いチェックをつけた。

先ほど、課が被っているところがあるという話があったが、私は電子化も気になっているので、情報政策課のモバイルワークのところも聞きたいと思った。

普段の気になっていることとしては、ごみ袋が高いということを考えていた。私は以前に大阪に住んでいたが、指定ごみ袋がなかったのもので、自由なごみ袋で捨てていた。指定の袋というものがあつたことを鳥取に来て初めて知った。そういうところも財源に繋がっていると考えると、他でしっかり財源が確保できれば、負担はどんどん減っていくのではと思った。

委員長：

今後半で出た、ごみ処理のコストの話になるのかもしれないが、要は出すごみの量に比例して負担してもらうという話かと思う。そういう徴収の仕方をしているのはごみだけなのか。

事務局：

ごみについては、以前は神谷清掃工場、今は河原の国英に新しい処理場があるが、そこにかかる費用が大体年間で3億から4億円くらい発生している。その経費の1割くらいを負担していただくということで、その経費をごみ袋の実績で割り戻すと単価が決まるという仕組みになっている。鳥取市の場合は、ごみ袋の値段を環境審議会で決めていただいております、ここ10年くらいは据え置きになっている。

ただ、ごみが少なくなってきており、だんだん経費がかからなくなってきている。議会からも、ごみ袋代を少し下げてもらいたいという意見も出ている。今後は見直しすることもあるかもしれない。

委員長：

人口が減っているからごみが出る量も減るのだろうが、施設の維持を考えると、基本的なコストが変わらなければ、いずれは負担が大きくなってくるのではと思った。そんなこともどこかで話題にできたら面白いかと思う。

E委員：

どうしても自分で丸をすると自分の興味のあるところに偏ってしまうが、逆に今まで全く興味がなかった分野でも、聞いてみるといろいろ気づきや疑問がある。今回は別として、例えばこれだけいろいろな分野から委員として出られるので、各委員がこれは必ず聞いてみたいというものを1人1つ選んではどうか。自分が丸をつけなかったところでも意外と聞くと参考になるし、なかなか自分が丸をしたところが選ばれないという方もいると思う。前半と後半に年度を分けて1人1個聞くものを決めるというのも案として面白いと思った。

委員長：

実は私もずっと丸をつけ続けている計画がある。何かというと障がい者雇用。今大学に発達障害を抱えた学生がいる。できないことがある一方で、とても優れた能力を持っている部分もあるが、なかなか社会の枠の中で受け入れてもらえにくく、採用されにくかったりする。そういう人たちが活躍できる場所があるといいと思いつつ、毎年丸をつけている。先ほどの案を採用するなら私はこれを挙げたいと思いながら聞いていた。

F委員：

市立病院に丸をつけた。病院はコロナ禍で大変な思いをされて、私たちもこれほど医療従事者に思いを馳せたことはこれまでなかったと思う。病院は、いわゆる市長部局直轄ではなく、公営企業という位置付けになる。これまで市長部局直轄のところを多くヒアリングしてきたので、公営企業や外郭団体の話も聞いて、市長部局直轄ではないからこそそのメリットや課題も勉強できたらいいいと思、そのあたりを強く要望したい。

それから情報政策課のモバイルワークの推進を二重丸にした。私は県ともいろいろな仕事をさせてもらっていて、県の方とコロナ禍の間ずっとやりとりをしていた。県庁でも在宅ワークを入れているが、あまりいい話を聞いたことがない。

一緒に仕事をさせていただくパートナーとしても、公務員の方が在宅ワークをされると非常に業務が停滞する。市役所もかもしれないが、担当者1人であれば家にいてもいいが、組織で動いているので、課に戻って調整をしないと事が進まない。在宅ワークが入ったときに、公務員の業務の遂行が一体どうなのかというのを改めて見てみたいので二重丸にした。

委員長：

一通り声を聞きながら、お気づきの点も話してもらった。ただ今日2人欠席されているので、ここにいる8人で1個ずつ好きなものと言って6つを決めるというのも乱暴な気もする。多くの方が丸印をつけたところを尊重しつつ、それ以外のものも選べたらいいかと思う。

今、話を聞いていて思ったのは、先ほど事務局が必ずしも今日決めきれなくてもいいと言ってくれたので、例えば今日の時点で担当課を6つ選ぶ。その中で一つの計画に限らず、こういう趣旨の話を知りたいということを担当課に伝えて、30分間で幅広い意見交換をしてもいいのではと思ったが、そんなやり方はどうか。

事務局：

大丈夫である。

委員長：

であれば、6つの課を選んでいこうと思うが、皆さんから複数の声が上がっていたのは、情報政策課と収納推進課。また、資産活用推進課は計画が3つ挙げられているので、来ていただいてもいいと思う。他には多目的室やボランティアのところ、あとは市立病院が挙げられていた。今回病院が3票入っていて事務局案に含まれなかったのは何か理由があるか。

事務局：

市立病院の経営健全化については、国から今年度中に病院の健全化を図るための計画を作ることを課せられており、今まさに国とやりとりをしている。仮にヒアリングをさせていただいても、その途中の段階での話になってしまわないかという懸念があり、外させてもらった。

ただ水道局や市立病院は公営企業という、市長部局と離れて独立採算制を持っており、1回そこを聞いていただくことはよいかと思う。

委員長：

私も病院については丸をつけている。患者がたくさんいるが医師が不足しているという話を聞いたりもしている。

何かを聞いて困らせようというのではなく、私たちの町の病院なので、しっかりみんなを支えていかなければいけないという応援の意味も含めてのアイデアなり意見交換ができればいいと思った。タイミング的に今一つということであれば、今回に限らなくてもいい話ではあると思う。それも含めて決めていけたらと思うが、あと課を選ぶとし

て、皆さんからここはどうかというものがあるか。

副委員長：

一番票数の多い財産経営課はあった方がいいと思う。

委員長：

情報推進課、収納推進課、財産経営課、それから資産活用推進課。これで今4つだが、あとはどうか。

ボランティアの話もあったが、昨年協働推進課には来てもらっている。他にあれば、他のところも検討したいが、協働推進課に話を聞くとすると、ボランティアもいいと思うし、他に聞きたいことはあるか。

副委員長：

NPO・企業からの協働事業提案制度の推進が聞きたいかと思う。

委員長：

これも票が多かった。ではこの辺のことを絡めて協働推進課にお願いしたい。もう一つ課で選ぶと、3票入っているのが、フレックスタイムや外部委託等推進方針の見直しになる。

事務局：

市立病院を事務局案から外したのは先ほど言ったような意図だった。必ずしも市立病院のヒアリングを否定するわけではないので、先ほどのご意見であれば、現在の経営健全化の取り組みを聞いていただくのは十分可能かと思っている。

委員長：

市立病院もずっと挙がっていながら外れていたのでもいいと思う。皆さん、病院でいいだろうか。では病院としたい。

今とりあえず課で選ばせていただいた。その中で、複数の丸印がついていたところの中身を掛け持ちしていただきながら、それぞれの課に話を聞いて、皆さんの疑問、ご意見を交わす、そういう時間にできたらいいと思う。

実際にヒアリングをするのは、二次評価が終わった後になる。そこで気づいたことも出てくると思うので、今の時点ではあまり中身を絞らず、とりあえず今日はこの6つの課にヒアリングをお願いするという事だけ決めさせていただきたいと思う。

事務局：

ヒアリングで一つの計画の持ち時間を30分としている。例えば資産活用推進課など、いくつか丸をつけていただいた計画があり、範囲が多岐に渡っているため、ある程度絞った話にしていただいた方が時間内に意見交換がしやすいかと思う。例えば、ふるさと納税と施設の複合化をまとめて30分でやるとかなり苦しくなってしまうので、ある程度の方向性というのがあればありがたい。

ただ、第9回委員会が、前半で二次評価の共有を行い、後半でヒアリングを2計画という説明をしたが、多少時間に余裕があると思うので、もし複数聞きたいことがあれば、

そこで少し多めの時間を取って意見交換していただくことは可能かと思う。

委員長：

今までは冒頭で各課にプレゼンみたいなものをしてもらっていたが、そこまでしてもらわなくても、30分の枠を我々から質問をしたりキャッチボールの形でやったりするのもいいのではないか。毎回準備をしていただくので、担当課にも負担があったと思うし、その都合もあるから少し絞ってという話でもあると思う。この中身でということではなく、特に準備してもらわなくてもよい。結局我々も計画で聞いたことをもう一回説明を受ける形にもなる。市役所の仕事を増やすのが我々の本意ではないと思っている。

事務局：

具体的な進め方はまた相談させていただきたい。

4. その他

事務局：

- ・二次評価については、8月頃を予定している。書面開催とするため、実際に集まるわけではなく各自で作業していただく形になる。後日依頼の連絡をさせていただく。紙資料を基本的に送らせていただくが、不要な方は別途ご連絡をいただきたい。
- ・第9回委員会は10月頃を予定している。ヒアリングの詳しい進め方は委員長と相談して、改めてご連絡をさせていただく。
- ・二次評価の際に補足資料も送らせていただくが、追加で資料が欲しいというものがあれば別途ご連絡いただきたい。

委員長：

二次評価の時にでも、今日6つの担当課が決まったので、その課の中で聞きたいことを簡単な箇条書きで報告してもらおうよう、皆さんにお願いしてもらえばいいと思う。あと、今日の時点で紙の資料は要らないという方がいれば事務局に言っておいてほしい。

事務局：

資料については、今日欠席の委員もおられるので、後日改めてご案内をさせていただきます。後で要らなくなるようであれば、いつでもご連絡いただきたい。

5. 閉会

委員長：

では以上をもって本日は終わりたい。どうもありがとうございました。
